

SBOs	科目及び講義課題	講師名	時間数		
			集合	オンライン	遠隔
1. 公衆衛生従事者が住まいに関わることの今日的意義を説明することができる。	1.1 「住まいと健康」概論 1.2 居住環境と厚生行政	院内講師 厚生労働省		A 2 A 1	
2. 住環境の健康への影響と対策について説明することができる。	2.1 空気質と健康 2.2 換気と室内環境 2.3 生活用品の化学物質とその対策 2.4 ダニとその対策 2.5 微生物とその対策 2.6 ねずみ・衛生害虫とその対策 2.7 温熱環境 2.8 住宅内の寒冷曝露が健康に及ぼす影響 2.9 音・光環境／構造・工法 2.10 住宅宿泊事業・旅館業 2.11 高齢者施設・高齢者住宅 2.12 電磁波・放射線 2.13 たばこ（受動喫煙・加熱式たばこ含む） 2.14 室内事故（高齢者・乳幼児への対応） 2.15 ヘルシーハウジングの改訂	院内講師 院内講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 院内講師 外部講師 院内講師 院内講師 院内講師 院内講師 院内講師 外部講師 外部講師		A 2 A 2 A 2 A 2 A 2 A 2 A 2 A 2 A 2 A 2 A 2 A 2 A 2 A 2 A 2	
3. 建築技術者等との連携に必要な住宅計画や管理のポイント、法制度について説明することができる。	3.1 住宅品質確保促進法 3.2 給水システムと水の安全性確保 3.3 住宅設備と管理（省エネ含む） 3.4 集合住宅の管理（規約、共有部分の管理） 3.5 住環境表現法（図面作成とアセスメント） 3.6 設備・衛生図面の読み方	外部講師 院内講師 院内講師 外部講師 院内講師 院内講師	B 2	A 2 A 2 A 2 A 2 B 2	
4. 住まいと健康に関する問題の対応のためのネットワークや体制づくりの方法を提案し実践することができる。	4.1 事例報告セミナー 4.2 災害時の公衆衛生活動 4.3 保健所の取組みセミナー 4.4 「住まいと健康」フォーラム（連携・協働の体制づくり）	主任・副主任 外部講師 外部講師 主任・副主任 外部講師 主任・副主任	A 2 B 2	B 2 A 2 A 2 B 2	
5. 住民やその支援者を対象とした住環境衛生教育の手法を使い現場で実践することができる。	5.1 住環境教育演習 5.2 室内環境の測定法 5.3 施設見学（戸建住宅関連） 5.4 施設見学（集合住宅関連） 5.5 別館等実験設備の見学	主任・副主任 主任・副主任 主任・副主任 主任・副主任 主任・副主任	B 8 B 4 D 3 D 3	B 6 D 1	
時間数	小計		24	58	
	集合	A 2 B 16 C 0 D 6 E 0		合計	82
	オンライン	A 45 B 12 C 0 D 1 E 0			
遠隔	A B C D E				

Aは講義、Bは演習、Cは実験、Dは見学、Eはその他、修了時評価等（オリエンテーション、開講式・閉講式は除く。）

遠隔は、遠隔システムを利用し、予習・復習を行うもの（事前課題は除く。）